

平成29年度 都筑区医師会地域多職種連携協議会 市民向け講演会

「おひとりさまの老後に備える」 ～在宅医療・在宅ケアの可能性～

- ◇日時 平成30年2月18日(日) 13:30～15:30
- ◇場所 都筑区役所 6階大会議室
- ◇講演者 中澤 まゆみ氏(ノンフィクション・ライター)
- ◇参加者 123名(うち幹事会メンバー21名)

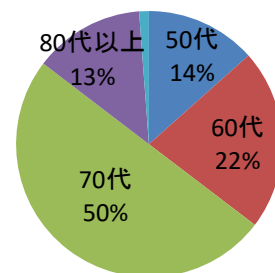
アンケート結果

アンケート回収数: 82名

問1. 参加者の年代

年齢別	人数
20代	0
30代	0
40代	0
50代	11
60代	18
70代	41
80代以上	11
未記入	1
合計	82

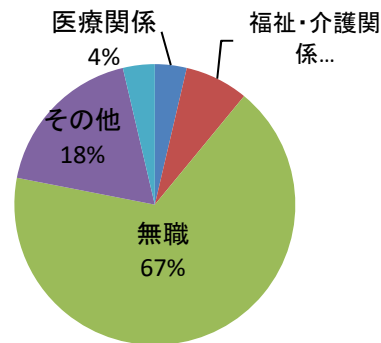
参加者年齢別人数



問2. 参加者の職業

職業別	人数
学生	0
医療関係	3
福祉・介護関係	6
無職	55
その他	15
未記入	3
合計	82

参加者の職業



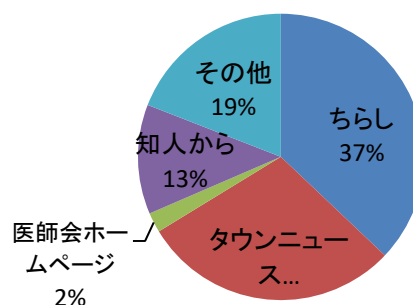
■その他の内訳

主婦	5	NPO法人理事	1
パート	3	地域活動	1
会社員	2	未記入	3
自営業	1		

問3. 講演会の情報の入手先

情報の入手先	人数
ちらし	33
タウンニュース	26
医師会ホームページ	2
知人から	11
その他	17
合計	89

講演会情報の入手先



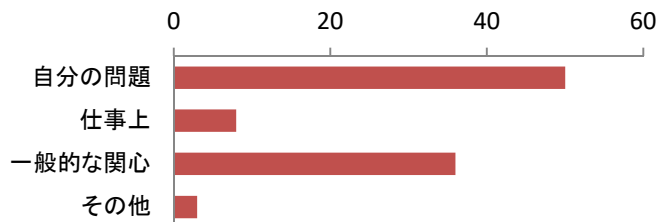
■その他の内訳

回覧板	9	勤務先(介護関係)	1
掲示板	4	図書館に来て知る	2
町内会	1		

問4. 「おひとりさまの老後に備える」というテーマの講演会への参加動機 (複数回答可)

参加動機	人数
自分の問題	50
仕事上	8
一般的な関心	36
その他	3
合計	97

「おひとりさまの老後に備える」というテーマの講演会への参加動機



■その他の参加動機

- ・自分と夫の老後・介護、独りきりの終活に関心がある。
- ・高齢の親が現在独り暮らしをしていることや自分自身の今後のこともあって。
- ・老人会との関係で。

■<現在の自分が抱えている問題として今回のテーマに関心がある>の年齢別・職業別内訳 (50名)

年齢別	人数	全体の人数	
50代	8	11	73%
60代	11	18	61%
70代	23	41	56%
80代以上	8	11	73%
(未記入)	0	1	0%
	50	82	61%

職業別	人数	全体の人数	
医療関係	3	3	100%
福祉・介護関係	3	6	50%
無職	36	55	65%
その他	5	15	33%
(未記入)	3	3	100%
	50	82	61%

■<仕事の上で今回のテーマに関心がある>の年齢別・職業別内訳 (8名)

年齢別	人数	全体の人数	
50代	5	11	45%
60代	2	18	11%
70代	1	41	2%
80代以上	0	11	0%
(未記入)	0	1	0%
	8	82	10%

職業別	人数	全体の人数	
医療関係	2	3	67%
福祉・介護関係	3	6	50%
無職	1	55	2%
その他	1	15	7%
未記入	1	3	33%
	8	82	10%

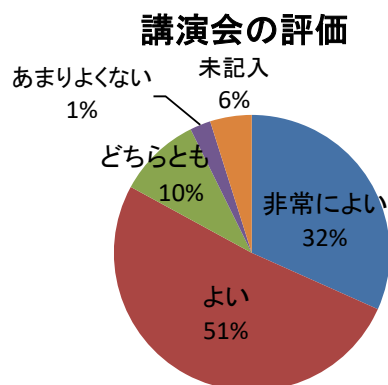
■<一般的なテーマとして関心がある>の年齢別・職業別内訳 (36名)

年齢別	人数	全体の人数	
50代	3	11	27%
60代	8	18	44%
70代	20	41	49%
80代以上	4	11	36%
(未記入)	1	1	100%
	36	82	44%

職業別	人数	全体の人数	
医療関係	0	3	0%
福祉・介護関係	3	6	50%
無職	24	55	44%
その他	7	15	47%
未記入	2	3	67%
	36	82	44%

問5. 講演会の評価

評価	人数
非常によい	26
よい	42
どちらとも	8
あまりよくない	2
よくない	0
未記入	4
合計	82



問6. 今後、どのような講座を希望するか

■「医療」について

- ・訪問診療の実例。どのようにして最期まで自宅で過ごしていくのか。
- ・訪問診療をしている医師の話を知りたい。介護にかかる費用について知りたい。
- ・どのような医者にかかって相談すれば良いか。

■「老後の生き方」について

- ・老後についての様々な問題に関する講座。
- ・老後をいかに前向きに生きていけるか。
- ・具体的に自分がどこでどう人生を終えたいのか、どうしたらよいのか、経済的にどのくらい必要なのか、を決められたり相談できる講座。また今関わっている義理の母や弟(要介護3と2)をどうしてあげたらよいのか相談したい。
- ・人生100年時代と言われている。老後の家庭経済についての講座を希望したい。
- ・80歳代の生き方を知りたい。
- ・これから老後について少しずつ具体的に考えていく材料になるものがあると安心。

■その他

- ・まちづくりに関して。民生委員の方などの声。
- ・これからまだ変わっていく制度を教えてほしい。
- ・体験談。
- ・いわゆる相性の良いケアマネージャーや訪問医など、つてのない者がどうやって見つけることができるのか、ポイントがあるのか知りたい。
- ・とても大変な時代になり、若者も結婚しない、子供を作らない、という時代を何とかしてほしい。希望の持てない時代を何とかしてほしい。トイレ介護について実話が聞きたい。
- ・おひとりさまの老後も、年を経れば変化・進化があると思うのでまたお願いしたい。
- ・今回のテーマの各論、具体的実践例の紹介など。
- ・地域別に具体的に列記して欲しい。
- ・区内の在宅ケアについて。
- ・都筑区における具体的な用例、やり方、すぐ利用できるチラシ、どこへ相談すれば良いかなど。
- ・区在宅医療相談室の利用から得られる地域の情報と対応結果のデータを知りたい。

問7. その他（意見・感想）

（福祉・介護関係）

- ・またこのような機会があったらぜひ参加したい(50代)
- ・休憩時間が入ったためか、かなりの時間オーバーだった。質疑応答の時間がなくて残念(50代)
- （無職）
- ・声が聞きにくかった(60代)
- ・あまり興味のない夫を連れ出して講演会に参加したが、真剣に話を聞いている姿にとっても嬉しくなった(60代)
- ・マイクが近すぎたりして音声が聞き取りにくかった。資料を準備していただき、話は分かりやすかった(70代)
- ・今後どんどんお金が掛かるおひとりさまなら、自分が財産を使い果たせばいいが、老老介護では後に残った女性はどうしようもなく、お先真っ暗(70代)
- ・自分にできるボランティアなども考えてみたいと思う。79歳になり遅いと思うが、とても役立った(70代)

- ・参加者が多く、熱心に受講できた(70代)
- ・認知症でも受け入れる人の度量でボランティアができたのは嬉しかった(70代)
- ・FAXでの申し込みが困難なので、電話での参加申し込みができるありがたい(70代)
- ・パンフレットをA4ではなくB5サイズにしてもらおうと見やすいし扱いやすく保管もしやすい(70代)
- ・74歳の妻の自宅療養の延長を考えて都筑区医師会在宅事業部にお願いし、心強く感じた。在宅1か月で再入院になり、残念ながら実現はしなかったが、感謝している(80代)
- ・本人の意思を重視し、周囲の者が理解することの大切さをしみじみと感じた。いい医者を選ぶことは大変難しい(80代)
- ・マイクに声がこもって聞きにくかった(80代)
- (その他)
- ・家族・親戚・友人が要介護になったときのベストの対応は？どうしてあげたらよいのか悩む(60代)
- ・地域でのグループリビング、シェアハウスが作れたらと勉強会を重ねている(70代)
- ・マイクの声が割れて聞き取りづらかった(70代)
- ・在宅療養・廃用症候群など専門用語が多く出てきて把握ができない。プログラムの時間を守ってほしい。断りなしで撮影しないでほしい(70代)
- ・マイクが口元に近かったためかお話が良く分からなかった。マイクの使い方に配慮していただけたらもっと参考になったと思い残念。資料が詳しかったので、だいたい理解できた(未記入)